

2022年10月18日

11月2日(水)、自分らしく、自由な時間の過ごし方を提案する

複合施設「トレインチ自由が丘」リニューアルオープン！

～屋外で楽しめるワークショップやマルシェを開催し、リニューアルオープンを彩ります～

東急株式会社

当社は、2006年に大井町線「自由が丘」駅付近の大井町線車庫跡地に開業した「トレインチ自由が丘」(以下、本施設)を11月2日にリニューアルオープンします。リニューアル後は、1階は既存のベーカリーやレストラン、生活雑貨に加えて、ドーナツ、ソフトクリーム、デリ、お茶などを取り扱う商業店舗8店舗、2階がまちに開かれたラウンジ「(tefu)jiyugaoka」などで構成される複合施設に生まれ変わります。

本施設のリニューアルコンセプトは、「自然と過ごす、街の“あいま”で」とし、緑豊かな屋外空間と居心地の良いラウンジの中で、自由が丘で暮らす人、自由が丘を訪れる人が、“自然と”過ごせる場所へと、装い新たにリニューアルします。

1. 開業記念イベント概要

開業を記念して、心地よい秋空の下、屋外空間を楽しむためのさまざまなイベントを開催します。

《トレインチ飾り付けワークショップ by そら植物園》

・開催日時：2022年10月29日(土) 15:00～17:00

・概要：

本施設の植栽のプロデュース、施工をしたそら植物園が、「みんなで作るトレインチ」をテーマに、施設装飾をワークショップ形式で開催します。クリスマスまでの季節限定の装飾で、そら植物園が植えた木々にオーナメントを飾り付けしていきます。

その他、そら植物園による植栽ツアーや新しくオープンするお店のおやつ会も実施予定。ワークショップの最後には、イルミネーションの点灯式も行い、新たなトレインチ自由が丘の初のお化粧姿を一緒に見守りましょう。

・参加費：無料

《道くさマルシェ by カタカナ》

・開催日時：2022年11月2日(水)～6日(日) 11:00～18:00

・概要：

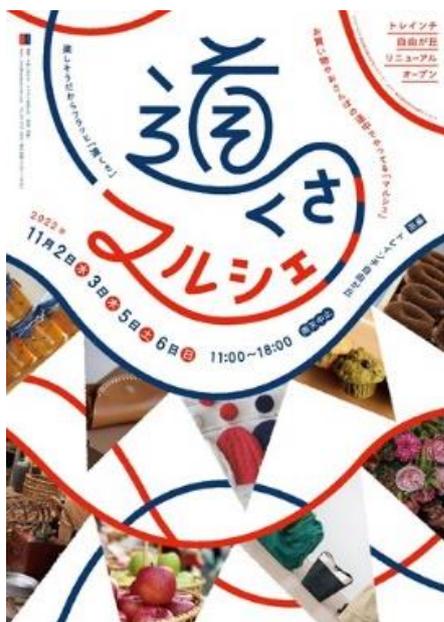
お買い物の途中や、おさんぽの途中で、マルシェをやっている。楽しそうだからフラッと立ち寄ってみたい。そんな肩の力が抜いてリラックスしながらワクワクできる「道くさマルシェ」。

2010年から自由が丘にお店を構えて、地元の方から愛されているお店「カタカナ」を中心に、今回、自由が丘や全国からこだわりを持った仲間たちが集結してマルシェを開催します。パンや野菜、雑貨など、こだわりのモノが集まるマルシェを、道くさついでにお楽しみいただけます。

※イベントの開催日時、概要は変更となる可能性がございます。

※参加方法など詳細は、トレインチ自由が丘の公式インスタグラムでご案内いたします。

https://www.instagram.com/trainchi_jiyugaoka/



2. (tefu) jiyugaoka 概要

本施設2階には、ラウンジ、カフェ、オフィス、レンタルスタジオを併設する「(tefu) jiyugaoka」が開業します。自由が丘に集う幅広い世代の方々が気軽に立ち寄り、仕事や勉強、読書、語らいなど、思い思いの形で利用できる空間を目指します。また、フリーランスや個人事業主の利用を想定し、登記が可能な個室ブースや固定デスクも完備しており、現在入居者募集を行っています。また、小田政志氏によるコーヒー専門店「Raw Sugar Roast」(株式会社 Swim)が手がけるカフェ「amber」が、こだわりのハンドドリップコーヒーなどやクラフトビール、自然派ワインを提供し、1日を通して心地の良い時間をお届けします。

個室ブース、固定デスクの入居申し込みはこちら

<https://www.te-fu.jp/jiyugaoka-open>

<利用料金体系>

- ・個室ブース 月額 80,000円/室(2名まで登録可)
- ・固定デスク 月額 60,000円/室(2名まで登録可)
- ・ラウンジ(フリーアドレス) 月額 33,000円/名、ドロップイン 1時間900円
- ・レンタルスタジオ(29.1㎡) 1日利用 33,000円

<営業時間>

10:00~22:00

(個室ブース、固定デスクは24時間営業、amberは21:00L.O.)

3. 環境への取り組み

当社は、“美しい生活環境の創造”を目指し、交通をはじめとした生活インフラやサービスと一体となったサステナブルな「まちづくり」に取り組み、事業成長と社会課題解決を両立させ、SDGsに貢献するため、「SDGs宣言」を公表しています。

また、自由が丘エリアにおいては、自由が丘商店街振興組合と自由が丘の街づくり会社、株式会社ジェイ・スピリットより2022年4月に「自由が丘SDGs宣言」が発表されるなど、地域における環境への意識が高まっています。

本施設は、当社の「SDGs宣言」及び「自由が丘SDGs宣言」に賛同し、本施設内において環境に配慮したさまざまな取り組みを推進することで、地域と共に、自由が丘のまちの持続可能な成長を目指していきます。

「自由が丘SDGs宣言」ホームページ <https://www.jiyugaoka-abc.com/sdgs/>

・本施設内における環境配慮の取り組み

樹木のバトンパス	プラントハンター・西島清順氏が率いる、そら植物園株式会社のプロデュースの元、2020年に閉館した商業施設「代々木VILLAGE by kurkku」で撤去された、レッドウッドをはじめとする5本の樹木を受け継ぎ、本施設に移植しました。季節の移ろいと共に多様な表情を見せる樹木や植栽で本施設を彩ります。
鉄道廃材の再利用	2023年1月に定期運行を終了する田園都市線8500系車両の網棚を(tefu)jiyugaokaの内装に、車体外装を本施設の案内サインに、枕木を屋外に設置するベンチに、と様々な形で再利用することで、鉄道廃材の価値を再定義し、新しい命を吹き込むと共に、本施設が車庫であった時の面影を感じられる空間を演出します。
エッグペイント採用	卵を使用した様々な食品の製造過程から産まれる卵殻の廃棄量は、年間約20万トン。その内約80%は処分費用をかけて、焼却・埋め立て処分されています。資源を好循環させる事を目指し、日本エムテクス株式会社により生み出されたエッグペイント(卵殻を原料とする塗料)を、(tefu)jiyugaokaの内装の一部に採用します。
CO2フリー電力導入	株式会社東急パワーサプライと連携し、2022年11月1日より、再生可能エネルギー実質100%による電力を導入します。これにより、電力消費によるCO2排出量“ゼロ”の複合施設の運営が可能となります。
その他	本施設に出店する商業店舗においても、品質に問題の無い型崩れ品を使用した商品の販売によるフードロス対策、紙コップや紙皿の使用による脱プラ対策などに積極的に取り組みます。

【参考】

東急株式会社（連結）が貢献するSDGs(SDGs宣言)

「美しい生活環境の創造」を目指し、交通をはじめとした生活インフラやサービスと一体となったサステナブルな『まちづくり』に取り組み、事業成長と社会課題解決を両立させ、SDGsに貢献します。」



SDGs 宣言は、当社グループの事業目的である「美しい生活環境の創造」が目指すありようや、実際に取り組んでいる社会課題の解決を通じたまちづくりの取り組み、そして、創業以来の先人たちの努力の軌跡などを踏まえ、当社グループが事業活動を通じてどのようにSDGs 達成に貢献するかをワンボイス・ワンピクチャーで整理したものです。

交通や生活インフラ・サービスを含めたサステナブルなまちづくりを根幹に、当社グループならではの幅広い事業を通じた幅広い SDGs に寄り添い、負の影響を軽減し、良い影響に向けた社会価値を創造していきます。

東急株式会社「SDGs 宣言」 <https://tokyu.disclosure.site/ja/316/>

以 上